

No.01

部課室	まちづくり部 都市計画課	事業名	都市計画支援システム事業	事業区分	その他事業
事業概要	来庁者が都市計画情報を検索したり、都市計画基本図を購入するための窓口タッチパネルや、都市計画、公園緑地業務支援に係る地理情報システム(GIS)の保守・管理を行う。定期的に地番図データや都市計画情報等を更新・設定する。				
SDGs (持続可能な開発目標)					11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
3,623 千円	3,623 千円	0 千円	3,623 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	都市計画基本図購入者：3,500人	対象1人あたり	1,035 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.02

部課室	まちづくり部 都市計画課	事業名	都市計画基礎調査事業	事業区分	臨時事業
事業概要	土地利用計画や用途地域見直し等の基礎資料とするため、定期的に都市における現況や将来の見通しについて調査する。 2026年度は、調査区の設定と人口及び世帯規模の調査を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)					11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
4,312 千円	4,312 千円	0 千円	4,312 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口：375,005人	対象1人あたり	11 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.03

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	一宮市景観計画改定事業	事業区分	臨時事業
事業概要	一宮市都市計画マスタープランの部分改定、一宮市緑地の保全及び緑化の推進に関する条例の施行、景観専門監の登用等を踏まえ、2021年に策定した一宮市景観計画の部分改定を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			8	11	17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
7,360 千円	7,260 千円	△100 千円	7,260 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口：375,005人	対象1人あたり	19 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、一宮市景観計画改定委託料を見直して一部減額した。				

No.04

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	景観デザイン研修事業	事業区分	新規事業
事業概要	職員のデザインに対する知識及びスキルの向上に取り組み、市民に、より伝わるポスター、チラシ、SNSなどの作成をするため、景観デザイン研修会を開催する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	4				
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
1,359 千円	0 千円	△1,359 千円	2,714 千円	+2,714 千円	
KPI	受益者など (見込)	2025.4.1現在職員数 : 2,585人		対象1人あたり	1,049 円
査定結果の理由等	職員向けのデザイン研修について一旦保留としたが、事業内容及び要求額を再検討した結果、必要性を認めるとともに、トータルコストの観点から、研修で使用する端末の調達方法をリースから購入に見直して一部増額した。また、職員の育成が効果的に行われる運用方法の検討を指示した。				

No.05

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	都市公園管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	都市公園等における除草・清掃、植物管理、施設の保守点検・修繕等を実施する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	6 11 15 17				
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
650,339 千円	650,339 千円	0 千円	650,339 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	管理面積 (大野極楽寺公園除く) : 1,353,500㎡		対象1㎡あたり	480 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.06

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	街路緑化管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	街路樹の剪定や植樹帯の除草・清掃等の管理を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)	11				
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
242,334 千円	242,334 千円	0 千円	242,334 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	管理延長 : 59km		対象1kmあたり	4,096,247 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.07

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	美しい並木道再生事業	事業区分	その他事業
事業概要	巨木化した街路樹による歩道の根上りを解消するとともに、安全な歩行空間を確保するため、街路樹の更新を行い美しい並木道に再生する。 2026年度工事箇所：市道0170号線（五城森上線）【玉野地内】 市道0142号線（加茂伝法寺線）【千秋町浮野地内ほか】				
SDGs（持続可能な開発目標）			7	11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
26,000 千円	26,000 千円	0 千円	26,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	朝日、千秋連区 2025.10.1現在人口：28,815人		対象1人あたり	902 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.08

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	大野極楽寺公園ほか2公園指定管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	大野極楽寺公園・光明寺公園・木曾川沿川緑地の一部において、指定管理者制度により民間事業者の能力等を活用し、効率的な管理を行う。				
SDGs（持続可能な開発目標）		4	6	8	11 17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
203,636 千円	203,636 千円	0 千円	203,636 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	管理面積：738,000㎡		対象1㎡あたり	275 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.09

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	都市公園防犯カメラ設置事業	事業区分	臨時事業
事業概要	市民が安心して公園を利用できるよう防犯対策の一環として、不審者の公園内侵入及び犯罪の抑止のため、83公園に84台のカメラを設置する計画で、2026年度は、42公園に42台の防犯カメラを設置する。				
SDGs（持続可能な開発目標）				11	16 17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
3,471 千円	12,656 千円	+9,185 千円	13,629 千円	+973 千円	
KPI	受益者など（見込）	対象連区2025.10.1現在人口：340,622人		対象1人あたり	40 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、トータルコストの観点から、防犯カメラ設置に係る調達方法をリースから購入に見直した。また、2026年度、2027年度の2か年で早急に設置していくべきと判断して2026年度に設置する防犯カメラの台数を増やした。				

No.10

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	都市公園防犯カメラ管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	市民が安心して公園を利用できるよう防犯対策の一環として、2019年度に設置した市内23の都市公園等に設置した28台の防犯カメラに対し、不審者の公園内侵入及び犯罪の抑止のため、適切な保守・管理を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	16 17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
2,941 千円	2,941 千円	0 千円	2,941 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	対象連区2025.10.1現在人口:303,783人	対象1人あたり	9.68 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.11

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	光明寺公園園路修繕事業	事業区分	臨時事業
事業概要	老朽化した光明寺公園内の園路舗装を修繕する。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
4,100 千円	4,100 千円	0 千円	4,100 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口:375,005人	対象1人あたり	10 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.12

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	ツインアーチ138管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	ツインアーチ138において、指定管理者制度により民間事業者の能力等を活用し、効率的な管理を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			8	11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
21,108 千円	21,108 千円	0 千円	21,108 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	ツインアーチ138入館者数:101,078人	対象1人あたり	208 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.13

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	ツインアーチ138外壁塗装事業	事業区分	投資的事業
事業概要	ツインアーチ138の外壁塗装の経年劣化にともない、塗装の塗替工事を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			8	11	17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
177,340 千円	177,340 千円	0 千円	177,340 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	ツインアーチ138入館者数: 101,078人		対象1人あたり	1,754 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.14

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	国営木曾三川公園三派川地区センターイベント負担事業	事業区分	その他事業
事業概要	国営木曾三川公園三派川地区センターイベント実行委員会が138タワーパークで四季折々のイベントを実施する費用を負担する。				
SDGs (持続可能な開発目標)			8	11	17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
11,700 千円	11,700 千円	0 千円	11,700 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	年間イベント参加者数: 717,447人		対象1人あたり	16 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.15

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	富田山公園再整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	自然に親しむ場を確保し、公園の利用増進及び賑わいを創出するため、Park-PFIなどの民間活力を導入した木曾川の水辺拠点である富田山公園の再整備を推進する。 2026年度は、かわまちづくりエリア(木曾川河川敷内)の測量を行うとともに、木曾川の堤防スペースを活用するため、ボーリング調査等を行い、盛土の詳細設計を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			7 8	11	15 17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
38,000 千円	38,000 千円	0 千円	38,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口: 375,005人		対象1人あたり	101 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.16

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	木曾川尾西緑地整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	国と木曾川沿川12市町で作成した「木曾川中流域自転車で繋ぐかわまちづくり」計画に基づき、新濃尾大橋下流における木曾川河川敷を利用した遊歩道・自転車道及び周辺施設の整備を行うため、測量、設計を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			8	11	17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
15,000 千円	15,000 千円	0 千円	15,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	尾西6連区2025.10.1現在人口:57,380人		対象1人あたり	261 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.17

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	かわまちづくり推進事業	事業区分	投資的事業
事業概要	「一宮西部地区かわまちづくり」計画に基づき、河川空間のオープン化に向け一宮西部地区かわまちづくり協議会への運営支援を行うとともに、「木曾川中流域自転車で繋ぐかわまちづくり」計画に基づき、サイクルツーリズムの実施にあたり、休憩ポイントやトレーラーハウスを活用した社会実験、イベント等を開催し、サイクリングロードの利用促進策の検討、効果検証等を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			8	11	17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
16,500 千円	14,000 千円	△2,500 千円	14,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口:375,005人		対象1人あたり	37 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、西中野渡船を活用したイベント開催に係る経費を減額した。				

No.18

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	青木川河川敷公園整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	千秋町から丹陽町地内において、青木川河川敷を利用し遊歩道と休憩スペースによる憩いの場を創出する。 2026年度は、引き続き三ツ井1丁目地内の整備を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
21,000 千円	21,000 千円	0 千円	21,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	整備面積 (㎡) : 570人		対象1人あたり	36,842 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.19

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	各種公園整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	フェンスなどの管理施設のほか、休憩施設や便益施設などを整備・改善することにより、公園利用者の安全性、利便性の向上を図る。 また、2026年度は、中央看護専門学校・スケート場の跡地をまちなかのにぎわいの場（広場）として活用するため、基本計画を策定する。				
SDGs（持続可能な開発目標）	11				
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
35,500 千円	35,500 千円	0 千円	35,500 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	整備対象公園等：9公園等	対象1公園あたり	3,944,444 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.20

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	公園施設長寿命化対策事業	事業区分	投資的事業
事業概要	一宮市公園施設長寿命化計画に基づき、誰もが安全で安心して利用できる公園とするため、老朽化した遊具などの公園施設の更新を行う。 2026年度は、5公園（大野極楽寺公園ほか）の遊具等施設の更新を行う。				
SDGs（持続可能な開発目標）	11				
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
93,800 千円	83,300 千円	△10,500 千円	83,300 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	整備対象公園：5公園	対象1公園あたり	16,660,000 円	
査定結果の理由等	【令和7年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 なお、要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和7年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.21

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	真清公園再編事業	事業区分	投資的事業
事業概要	市民開放プール事業廃止に伴い、プール施設跡地を活用した真清公園の再編整備を行う。				
SDGs（持続可能な開発目標）	11				
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
61,000 千円	61,000 千円	0 千円	61,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	向山連区2025. 10. 1現在人口：9,040人	対象1人あたり	6,747 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.22

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	県営水環境整備事業（奥村井筋地区）	事業区分	投資的事業
事業概要	<p>県が実施する奥村井筋の上部を利用した自然や景観に配慮した遊歩道、休憩施設の整備費の一部を負担する。 2026年度は、東五城地内ほかの遊歩道等の整備を行う。</p>				
SDGs（持続可能な開発目標）			3		11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
15,000 千円	15,000 千円	0 千円	15,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	尾西6連区2025.10.1現在人口：57,380人		対象1人あたり	261 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.23

部課室	まちづくり部 区画整理課	事業名	外崎地内道路整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	<p>外崎土地区画整理事業の区画道路の整備に併せ、一体施工が必要となる区域外道路の設計及び工事を行う。</p>				
SDGs（持続可能な開発目標）				11	17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
10,901 千円	10,901 千円	0 千円	10,901 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	外崎施行地区内想定人口：2,100人		対象1人あたり	5,190 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.24

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	小学校入学記念樹配付事業	事業区分	その他事業
事業概要	<p>市内の小学校に入学した児童に入学記念樹として苗木や多肉植物の鉢植えを配付する。</p>				
SDGs（持続可能な開発目標）		4		11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
1,984 千円	1,984 千円	0 千円	1,984 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	2026年度小学校1年生：1,766人		対象1人あたり	1,123 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.25

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	いちのみやリバーサイドフェスティバル運営協議会事業	事業区分	その他事業
事業概要	いちのみやリバーサイドフェスティバル運営協議会が開催するイベント等に分担金を支出する。 ・いちのみやリバーサイドフェスティバル (5月3日～5日開催予定、国営木曾三川公園138タワーパーク) ・木曾川上下流域交流会(7月開催予定、長野県木曾郡) ・いちのみや秋の緑化フェア(10月開催予定、国営木曾三川公園138タワーパーク)				
SDGs(持続可能な開発目標)				8	11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
20,000千円	20,000千円	0千円	20,000千円	0千円	
KPI	受益者など(見込)	イベント来場者数:160,000人		対象1人あたり	125円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.26

部課室	まちづくり部 公園緑地課	事業名	緑の街並み推進事業補助事業	事業区分	その他事業
事業概要	優秀な緑化の創出、緑化の推進を図るため、「あいち森と緑づくり税」を活用して民有地の緑化に関する費用を補助する。				
SDGs(持続可能な開発目標)				11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
7,000千円	7,000千円	0千円	7,000千円	0千円	
KPI	受益者など(見込)	緑の街並み推進事業補助金申請者:4人		対象1人あたり	1,750,000円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.27

部課室	まちづくり部 地域交通課	事業名	iーバス運行事業	事業区分	その他事業
事業概要	「第3次一宮市公共交通計画」に基づくバス路線ネットワークのうち、iーバス(一宮コース、尾西北コース、尾西南コース、木曾川・北方コース、千秋町コース【千秋ふれあいバス】、大和町・萩原町コース【ニコニコふれあいバス】)6コースの運行を行う。 2026年度は、尾西北コース、木曾川・北方コース及び一宮コースにおいて、10月から一部ルート変更を行う。				
SDGs(持続可能な開発目標)			7	11	17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
235,520千円	235,520千円	0千円	235,520千円	0千円	
KPI	受益者など(見込)	iーバス年間利用者数:259,324人		対象1人あたり	908円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.28

部課室	まちづくり部 地域交通課	事業名	バス路線維持対策補助事業	事業区分	その他事業
事業概要	市の公共交通ネットワークの幹線的バスである138タワーパーク及び総合体育館と一宮駅を結ぶ「名鉄バス光明寺線」、木曽川町地域と一宮駅を結ぶ「名鉄バス一宮・イオン木曽川線」を維持し、地域住民の生活交通を確保するため、運行経費の欠損額に対する補助を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
24,096 千円	24,096 千円	0 千円	24,096 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	光明寺線、一宮・イオン木曽川線年間利用者数 : 228,582人	対象1人あたり	105 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.29

部課室	まちづくり部 地域交通課	事業名	i-バスミニ運行事業	事業区分	その他事業
事業概要	鉄道駅やバス停から離れた公共交通を利用しづらい地域にある公民館等に、予約制の乗合タクシー「i-バスミニ」の停留所を設置し、最寄りのバス停等まで送迎を行う。2026年度は、10月のi-バス木曽川・北方コースの見直しに伴い、北方町西部の停留所が廃止されることから、代替としてi-バスミニを運行する。				
SDGs (持続可能な開発目標)			7	11	17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
3,937 千円	3,113 千円	△824 千円	3,113 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	i-バスミニ年間利用者数 : 873人	対象1人あたり	3,565 円	
査定結果の理由等	【実施見送り】 i-バスミニの実証運行事業について、高齢者等の日常の移動手段を確保する目的のものであり、必要性は認めるものの、事業内容に見直すべき点があるため減額した。				

No.30

部課室	まちづくり部 地域交通課	事業名	地域主体による移動支援事業	事業区分	変更事業
事業概要	公共交通機関では対応しきれない交通不便地域の高齢者等の日常の移動手段を確保するため、連区等の単位で構成する地域団体が自主的に実施する輸送サービスに対し、必要な費用の一部を負担する。2026年度は、スキームを固めるにあたっての基礎データを取得するため、最長3か月の試験運行を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	17
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
1,025 千円	0 千円	△1,025 千円	0 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市在住の満65歳以上の高齢者 (2025. 4. 1日現在) : 103,435人	対象1人あたり	0.00 円	
査定結果の理由等	【実施見送り】 地域主体による移動支援事業補助金について、高齢者等の日常の移動手段を確保する目的のものであり、必要性は認めるものの、補助内容を見直す必要があると判断し計上を見送った。				

No.31

部課室	まちづくり部 地域交通課	事業名	路線バス利用者維持・確保支援事業	事業区分	その他事業
事業概要	高齢者の外出機会の創出や、路線バス利用者の維持・確保に繋げるため、名鉄バスが発行する高齢者フリーパス「シルバーパス65」「ゴールドパス70」の購入費用の一部を負担する。				
SDGs (持続可能な開発目標)					11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
2,520 千円	0 千円	△2,520 千円	2,520 千円	+2,520 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市在住の満65歳以上の高齢者(2025.4.1日現在): 103,435人		対象1人あたり	24 円
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて一旦保留したが、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が活用できる事業であり、高齢者の外出機会を創出することによる健康増進の効果も期待されることから、要求どおり通年の事業費を計上した。				

No.32

部課室	まちづくり部 地域交通課	事業名	デジタルチケット利用促進事業	事業区分	その他事業
事業概要	公共交通の利便性の向上及び利用促進のため、スマートフォンによるデジタルチケットの購入や目的地までのルート検索、バスの運行状況の確認、タクシー予約などを可能とした一宮市版MaaSサイト「イッテミーヤ」を運用する。 2026年度は、「イチ・デジ」と連携した市民限定のお得なバス乗車券等の販売を開始する。				
SDGs (持続可能な開発目標)					11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
1,775 千円	1,775 千円	0 千円	1,775 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口: 375,005人		対象1人あたり	4.73 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.33

部課室	まちづくり部 地域交通課	事業名	放置自転車等対策事業	事業区分	その他事業
事業概要	歩行者等の安全及び良好な都市環境を確保するため、一宮駅周辺の自転車等の放置禁止区域内及び放置規制区域内の放置自転車等を撤去し、撤去した自転車等の保管及び返還を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)					11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
12,728 千円	12,728 千円	0 千円	12,728 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	尾張一宮駅・名鉄一宮駅年間乗車数: 14,575,659人		対象1人あたり	0.87 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.34

部課室	まちづくり部 地域交通課	事業名	駅等駐輪場管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	鉄道駅やバス停付近の市営駐輪場(38箇所)を有効に活用し、周辺道路への駐輪を防ぐため、駐輪場内の自転車整理等の管理を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)					11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
38,563千円	38,563千円	0千円	38,563千円	0千円	
KPI	受益者など(見込)	駐輪場年間延べ利用者数: 1,741,780人	対象1人あたり	22円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.35

部課室	まちづくり部 地域交通課	事業名	交通安全施設整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	交通事故の危険性が高い箇所、小学校等の付近で特に交通の安全を確保する必要がある箇所及び交通の混雑により交通事故が多発するおそれがある箇所を対象に、交差点での視認性を向上させる道路反射鏡や注意喚起のための道路標示等の交通安全施設を必要に応じ設置し、交通環境の改善を図る。				
SDGs (持続可能な開発目標)					3
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
97,300千円	97,300千円	0千円	97,300千円	0千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口: 375,005人	対象1人あたり	259円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.36

部課室	まちづくり部 地域交通課	事業名	通学路カラー塗装整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	歩車道分離がされていない登校児童数10人以上の小学校の通学路を対象に、片側の路肩等にカラー塗装(緑塗り)を実施する。 また、2026年度は通学路のほか、児童クラブへの経路についてもカラー塗装を実施し、児童の安全・安心をより一層確保する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	3	4	11		
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
21,200千円	21,200千円	0千円	21,200千円	0千円	
KPI	受益者など(見込)	2025.10.1現在 市内42小学校の児童数: 18,904人	対象1人あたり	1,121円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.37

部課室	まちづくり部 地域交通課	事業名	道路附属物保全事業	事業区分	投資的事業
事業概要	道路附属物(道路照明灯等)の定期点検で得られた情報をもとに、損傷した道路附属物の修繕、建替え等を実施する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
28,100 千円	8,000 千円	△20,100 千円	8,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口: 375,005人		対象1人あたり	21 円
査定結果の理由等	【令和7年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 なお、要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和7年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.38

部課室	まちづくり部 地域交通課	事業名	生活道路交通安全対策事業	事業区分	投資的事業
事業概要	交通ビッグデータを活用して、交通事故等が発生している箇所及び潜在的に危険な箇所を把握し、ゾーン30指定区域をより安全・安心な通行空間「ゾーン30プラス」にするため、ハンブ(人工的な舗装段差)や狭さく(車道幅を局部的に狭める箇所)等の設置について検討を行う。 また、富士地区の「ゾーン30プラス」整備後の効果検証結果をもとに、追加対策を実施する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3			
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
7,600 千円	7,600 千円	0 千円	7,600 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	2025.10.1現在 事業対象地区人口: 20,459人		対象1人あたり	371 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.39

部課室	まちづくり部 地域交通課	事業名	自転車通行空間整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	歩行者や自転車が安全に通行できる交通環境の創出を目指し、「一宮市自転車活用推進計画」に基づき自転車専用通行帯(青色カラー塗装)やピクトグラム等を設置するため、調査、設計を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
10,150 千円	7,210 千円	△2,940 千円	7,210 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	2025.10.1現在 事業対象地区人口: 109,571人		対象1人あたり	65 円
査定結果の理由等	【令和7年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 なお、要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和7年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.40

部課室	まちづくり部 都市計画課	事業名	自動車整理場管理業務	事業区分	その他事業
事業概要	市内4箇所の自動車整理場の管理を行う。 ・本町自動車整理場20台、大宮公園自動車整理場43台 ・若竹自動車整理場69台、猿海道自動車整理場33台				
SDGs (持続可能な開発目標)					
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
14,088 千円	14,088 千円	0 千円	14,088 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	駐車可能台数(駐車マス数) : 165台	対象1台あたり	85,381 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.41

部課室	まちづくり部 都市計画課	事業名	まちなかウォークブル推進事業	事業区分	臨時事業
事業概要	一宮駅周辺において、官民連携により、居心地が良く歩きたくなるまちなかを形成し、都市のにぎわい創出を図る。 2026年度は、本町通りの歩行者利便増進道路、いわゆる「ほこみち」に向けた実装的な取組及び整備を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)					
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
183,860 千円	183,860 千円	0 千円	183,860 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口 : 375,005人	対象1人あたり	490 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.42

部課室	まちづくり部 都市計画課	事業名	名古屋鉄道尾西線荻安賀駅付近鉄道高架事業	事業区分	投資的事業
事業概要	周辺地域の渋滞解消、地域経済の発展や安全性の向上を目的として、愛知県が進める名鉄尾西線荻安賀駅付近鉄道高架事業において、市が要望する原型復旧や愛知県の事業計画を超える増強部分等の工事費を負担する。 2026年度は、線路を横断する排水路の増強部分の工事費を負担する。				
SDGs (持続可能な開発目標)					
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
22,759 千円	22,759 千円	0 千円	22,759 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市2025.10.1現在人口 : 375,005人	対象1人あたり	60 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.43

部課室	まちづくり部 都市拠点整備室	事業名	区画整理事業化促進事業			事業区分	臨時事業			
事業概要	尾張一宮パーキングエリア周辺地区において、新たな市街地の整備を行い、産業や交流機能の立地誘導を図るため、土地区画整理事業の事業化に向けた検討を進める。 2026年度は、昨年度に引き続き、組合設立及び換地設計の準備並びに区画整理設計、自然環境保全調査、愛知県との土地区画整理事業に関する協議を行うとともに、新たに、埋蔵文化財調査（試掘・確認）、事業計画作成、地区界測量等を行う。									
SDGs（持続可能な開発目標）					8	9		11		17
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額						
①	②	増減（②-①）		③	増減（③-②）					
228,664 千円	228,664 千円	0 千円		228,664 千円	0 千円					
K P I	受益者など（見込）	一宮市2025. 10. 1現在人口：375,005人			対象1人あたり		609 円			
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。									